

ために、書くことに関する指導事項をおさえた年間指導計画を作成した。

② 単元の指導計画へ書く活動(学習作文)を位置づける。

教材内容を読み書きの関連においてとらえ、読みの過程にあらわれる書く活動を具体的にとり出し、単元の指導計画に位置づけた。

資料2 指導計画と書くことの関連

(具体例) 単元名 読んで感想を深めよう (石うすの歌) の場合

指 導 計 画	書く活動(学習作文)	培 える 作 文 力
1. 全文を読み、感じたこと考えたことを中心に感想文を書く。(1時間)	○題名から想像したことを書く ○第1次の感想を書く	○断片的な想像力 ○感じたことを短くまとめて書く
2. 感想や手びきを手がかりに学習の計画を立てる。(1時間)	○学習計画を書く	○考えを短文で表現 ○簡条書きによる表現
3. 全文の読みの練習、文章のあらましをつかむ。(1時間)	○登場人物の関係図を書く ○小見出しをつけて書く  (以下略)	○複雑なものを整理してわかりやすく図示する ○出来事を要約し短い言葉にまとめる

③ 読みの学習における学習作文の指導

読みの過程における作文活動は、書くことの機能を通し読みを深めると同時に、作文力そのもの的高まりもねらうので関連指導のあり方については、次のことに留意した。

ア、読みに対する目標を明確にすること。

目標が明確になつてはじめて読み方の方法や作文活動の組み入れ

がくふうされ、効果的になるため、有機的な関連を考える。

読むこと書くことの指導が一つの目標をもつた単元の中に位置づけられ、それぞれの働きをじゅうぶんに発揮し、関係づけながら単元の目標を達成するようにする。

右のことに留意し、読みのねらいや対象となる文章に応じて書く方法や形式をくふうし、実践した。

ア、そのまま書く。……視写・聴写イ、煮つめて書く。

読みの指導過程で原文からある部分をぬき書きしたり、要点を書き出したり、要約したり、あらましやあら筋を書く活動(実践例略)ウ、ふくらまして書く。

読みの過程において情景を想像し、作品のころを思い、読み手の経験と結びつけて詳述や補い書きをする活動。(実践例略)エ、触発された考えを書く。

読みの学習過程において、感想や意見を書く活動。(実践例略)オ、発展させて書く。

教材文で学習したこと(文章構成や表現のくふうなど)を生かして書く作文活動。(実践例略)

④ スキル学習をとり入れた作文指導

必要感を持たせる。

何のために、どんなねらいで学習するのか児童自身がしっかりわかっていることが、学習意欲や学習効果を高めるためには必要である。スキ

資料3

1. 題材名 書き出しのくふう
2. 設定の理由 略
3. 指導事項
  - 書き出しは、文章展開に大きな役割を果たしていること。
  - 書き出しにはいろいろな書き方があること。
  - 内容に合った書き出しをくふうして書くこと。
4. 本時の目標
 

書き出しは作文を書くのに大きな役割を果たしている事実にあづき、書き出しをくふうして書くことができる。
5. 指導過程(下表のとおり)

学 習 活 動 ・ 内 容	時間	指 導 上 の 留 意 点
1. 書き出しをくふうすることのたいせつさについて話し合う ○作文をするとき、文の長さ、文末表現のほかにくふうしていることは何か ○今まで書書き出しをどのようにくふうしてきたか ○書き出しは文章全体に影響をおよぼすこと	20分	○ 今まで作文を書くとき、どんなことに注意して書いてきたか経験を發表させ、書き出しをくふうした児童がいたら、それを手がかりに学習を展開する ○ 書き出しが書けなくて作文する時困った経験や書き出しがきまったらすらすら文章が書けた経験などを發表させる
2. 教科書の参考文の書き出しを調べる ○自分たちの書き出しとの比較 ●日記の書き出し…「きょう、わたしは○○をした。」が多い ●今まで書いた作文の書き出し ○教材文…集合の合図の擬音で書き出しているので緊張感が盛りあがる	10分	○ 自分たちのふだんの日記や作文と比較させ、したことの説明など、いつも同じような書き出しから書いている自分たちの作文を反省させる
3. 今日の出来事(日記)を書き出しをくふうして書く	15分	○ 自由に書き出しをくふうして書かせる次時は、それが手がかりにいろいろな書き出しの書き方について具体的に指導する

児童の書いた書き出しの分類

○擬音より書き出す(「ジリリ」「ジリリン」など)	17名
○会話文より書き出す(「うわ、けむりだ。」など)	4名
○話題文より書き出す(今日はひなん訓練をした。など)	4名
○気持ちより書き出す(あーあ、つかれた。など)	4名
○様子より書き出す(すごい煙、はき気しそう。など)	4名

中で、児童に指導する必要があるものを取り出す。

イ、読みの学習と結びつける。

読みの学習で習得した内容のうち作文指導をすすめる上で児童の身につけたい技能をとり出して、読みの活動から離れて指導する。

ウ、児童の実態から児童の実態から指導を必要とする技能をとりあげる。取材指導、中心のはっきりした文章、推敲などがあ

ア、作文単元と関連づける。

作文単元や教材と結びつけ、その単元や教材でねらっていることやそれと関連した作文の諸技能の

(指導事例)……次は、「表現をくふうして書こう」の作文単元と結びつけて行ったスキル学習の例の一部である。